

Numazu Fresh News

三島市災害対策本部情報処理訓練に参加

発信日:2014/7/2

—リエゾンとして訓練に参加し、災害応急対応を協議—

発信者:沼津河川国道事務所

7月1日(火)、三島市役所にて巨大地震の発生を想定した、「情報処理訓練」が開催され、沼津河川国道事務所から職員1名がリエゾン(情報連絡員)として参加しました。訓練は、市職員・消防団員、県職員、陸上自衛隊及び三島警察署員総勢70名が参加し、情報の処理と応急対応の検討を実践しました。

訓練の様子

土砂崩れ、水道管破裂、多重事故等様々な情報が寄せられ、対応策を検討しました。



被災情報受信



被災情報の整理



対応策の検討



防災関係機関(国交省・自衛隊・警察)による対応策の検討

◎訓練に参加して気づいたこと ～災害時のリエゾン派遣に備えて～

・災害対策本部には様々な情報が集約されます。リエゾンは積極的に情報収集するとともに、道路・河川管理者等として伝達すべき情報を災害対策本部に説明する必要があります。

・リエゾンには、国道・河川等での事務所の対応状況や国交省が支援できることを相談されます。日頃から防災業務計画や地域支援活動計画などの災害対応資料を確認しておく必要があります。

職員は誰でも、災害時にリエゾンとして自治体に派遣される可能性があります。日頃から国交省が進める事業や災害対応について理解しておくことが災害時の的確な行動に繋がると考えます。

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。